

令和3年10月15日 発表

報道関係者 各位

【照会先】

佐賀労働局労働基準部健康安全課
健康安全課長 北島 祐之
労働衛生専門官 庄司 裕貴
(電話) 0952 - 32 - 7176

「心の健康づくりフォーラム」を開催します

佐賀労働局(局長 加藤博之)では、関係機関とともに、企業や団体の代表者、人事労務担当者、職域・地域のメンタルヘルス関係者、県民のみなさんを対象としたメンタルヘルス関係のフォーラムを毎年開催しています。今回は、With コロナ時代の生き方に着目した心の健康をテーマとして開催します。

テーマ 「続・With コロナ時代の心の健康」

昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、人々は仕事や生活に不自由さを感じながらも「新しい生活様式」に沿って生活することが求められており、すべての世代で不安やストレスが高まっています。このような状況を踏まえ「続・With コロナ時代の心の健康」をテーマに、精神保健福祉や労働関係等の関係機関が協力し、広く一般県民にストレスへの対処やこれからの心の健康づくりについて考える機会となることを目的として心の健康づくりフォーラムを開催します。

日 時 : 令和3年11月4日(木) 午後1時30分から午後4時まで

場 所 : 佐賀県立生涯学習センター アバンセ (佐賀市天神3-2-11)

入場無料(なお、参加希望申込者が定員を超えたため、すでに申込受付を締め切っています。)

1 特別講演

『コロナ禍で負けない心の健康』

(講師) 諏訪中央病院

名誉院長 ^{かまた}鎌田 ^{みのる}實 先生

2 演 奏

「癒しの音色～アイリッシュハーブの魅力～」

(奏者) アイリッシュハーブ奏者

^{こじま}児島 ^{ゆうこ}祐子 さん

当日、取材を希望される報道機関の方は、準備の都合等がありますので、別紙の取材申込書を令和3年10月27日(水)15時までに佐賀労働局労働基準部健康安全課あてファックス送信してください。

当日会場内での取材は可能ですが、裏面の取材の注意事項にご留意ください。

【取材の注意事項】

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、入場する方はマスクをご着用ください。また、発熱や風邪の症状がある方は取材参加を控えていただきますようお願いいたします。
- 2 特別講演中の録画・録音は禁止とさせていただきます。
- 3 ニュース等のテレビ収録は、特別講演開始から20分間以内としてください。
- 4 新聞等の取材の場合の写真撮影(フラッシュ)は可です。

令和3年 月 日

心の健康づくりフォーラム 取材申込書

日時 令和3年11月4日(木) 13:30 ~ 16:00 (予定)

場所 佐賀県立生涯学習センター「アバンセ」1階ホール
佐賀市天神3丁目2-11

1 報道機関名	
2 取材担当者氏名	
3 取材参加者数	人
4 電話番号	() - 確実に連絡のとれる電話番号を記入してください。
5 FAX 番号	() -

- ・上記1~5の項目は全て記入してください。
- ・申込みは、令和3年10月27日(水)15時までをお願いします。

【送信先】佐賀労働局労働基準部健康安全課
FAX (0952) 32-7182

《留意事項》

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、来場される方はマスクをご着用ください。
また、発熱や風邪の症状のある方は取材参加を控えていただきますようお願いします。

とき

令和3年 11月4日(木)

午後1時30分から 午後4時まで

ところ

佐賀県立生涯学習センター「アバンセ」

佐賀市天神3-2-11

対象者

職域・地域でのメンタルヘルス関係者、一般県民の方々

テーマ

続・Withコロナ時代の心の健康

特別講演

「コロナ禍で負けない心の健康」

講師

諏訪中央病院
名誉院長

かまた みのる

鎌田 實 先生



プロフィール

東京医科歯科大学医学部卒業後、諏訪中央病院へ赴任。30代で院長となり、潰れかけた病院を再生させた。「地域包括ケア」の先駆けを作り、長野県を長寿で医療費の安い地域へと導いた。(現在、諏訪中央病院名誉院長、地域包括ケア研究所所長) 一方、チェルノブイリ原発事故後の1991年より、ベラルーシの放射能汚染地帯へ100回を超える医師団を派遣し、約14億円の医薬品を支援(JCF)。2004年からはイラクの4つの小児病院へ4億円を超える医療支援を実施、難民キャンプでの診察を続けている(JIM-NET)。東日本大震災以降、全国の被災地支援にも力を注いでいる。ベストセラー「がんばらない」、「鎌田式『スクワット』」と「かかと落とし」他、著書多数。

演奏

「癒しの音色～アイリッシュハーブの魅力～」

奏者

こじま ゆうこ

アイリッシュハーブ奏者 児島 祐子 さん

プロフィール

佐賀県生まれ。幼少からピアノを学び、東邦音楽大学ピアノ専攻を卒業後、音楽関連会社に勤務し、その傍らでハーブと出会い本格的にレッスンを励む。2016年 ハーブ教室cocoron～心音～を佐賀市唐人町にオープン。2018年アイリッシュハーブのソロ演奏を収録した1stアルバム「心の音」を発売。本場アイルランドのハーブ奏者が来日した際にはレッスンを受講し、自身もアイルランドへ行きアイリッシュハーブの歴史や文化に触れる。クラシックピアノで培った音楽の基礎を生かしながら、アイリッシュハーブの魅力を伝えている。



定員
150名

入場
無料

主催／厚生労働省佐賀労働局／佐賀県／佐賀県精神保健福祉協会／(独)労働者健康安全機構 佐賀産業保健総合支援センター／(一社)佐賀県労働基準協会／全国健康保険協会佐賀支部

後援／佐賀県医師会、(一社)佐賀県精神科病院協会、佐賀精神科診療所協会、佐賀県経営者協会、佐賀県中小企業団体中央会、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県商工会連合会、(一社)佐賀県法人会連合会、佐賀県農業協同組合中央会、日本労働組合総連合会佐賀県連合会、佐賀県労働組合総連合、(福)佐賀いのちの電話、(一社)佐賀県公認心理師協会、朝日新聞社、佐賀新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK佐賀放送局、サガテレビ、ぶんぶんテレビ、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

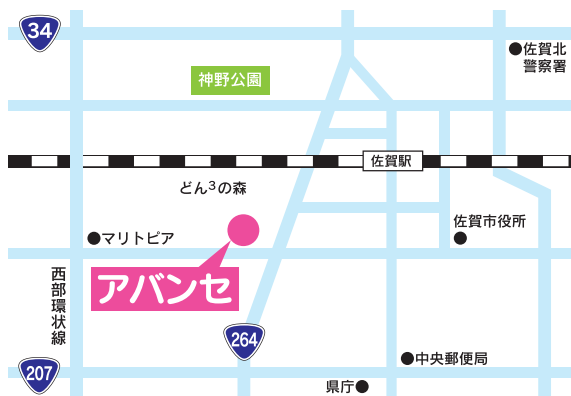
心の健康づくりフォーラム

テーマ 続・Withコロナ時代の心の健康

昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、人々は仕事や生活に不自由さを感じながらも「新たな生活様式」に沿って生活することが求められており、すべての世代で不安やストレスが高まっています。このような状況を踏まえ「続・Withコロナ時代の心の健康」をテーマに、精神保健福祉や労働関係等の関係機関が協力し、広く一般県民にストレスへの対処やこれからの心の健康づくりについて考える機会となることを目的として心の健康づくりフォーラムを開催します。

会場アクセス

佐賀県立生涯学習センター
「アバンセ」1階ホール
佐賀市天神3丁目2-11



※参加には事前申込みが必要です。事前申込みのない方は、当日入場できません。

- ◆申込み方法 下欄の申込票により、FAXまたは郵送でお申し込みください。
なお、メールでの申込みもできます。[(一社)佐賀県労働基準協会 宛]
メールアドレス: saroukikyohp@yahoo.co.jp
- ◆申込み期間 申込み受付開始: 令和3年9月10日(金)
申込み締切日: 令和3年9月30日(木) ※定員(150名)に達し次第締め切ります。
- ◆申込み先 (一社)佐賀県労働基準協会
〒845-0031 小城市三日月町堀江1721 TEL 0952-37-8277 FAX 0952-37-8278 または、
佐賀県精神保健福祉協会(佐賀県精神保健福祉センター内)
〒845-0001 小城市小城町178-9 TEL 0952-73-5060 FAX 0952-73-3388

【申込記入欄】

心の健康づくりフォーラム申込票

※事業場での参加と個人での参加の別のいずれかを○で囲んでください。

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下のとおり参加者全員の氏名等を記入してください。

事業場での参加

事業場での参加の方は、住所欄は記入せず、事業場名欄
(所在地・連絡先)と参加者氏名を記入してください。

個人での参加

個人での参加の方は、事業場名欄は記入せず、参加者氏
名、住所(連絡先)を記入してください。

事業場名 (所在地・連絡先)	TEL	—	—	FAX	—	—
参加者氏名 1						
参加者氏名 2						
参加者氏名 3						
住所(連絡先) 1	TEL — —					
住所(連絡先) 2	TEL — —					
住所(連絡先) 3	TEL — —					